

## 「現地を訪問して思うこと」

(匿名希望)

ツアー初日、仙台空港に降り立った時、衝撃の表示を目にした。「津波最高到達地点」。見ると、見上げるくらいのところそう書かれてある。何とも言えない気持ちになった。これから半観光気分で降り立った私をいきなり、被災地の現実が突きつけてきた。思い起こせば、当時、仙台空港が津波に飲み込まれた映像がよく流れており、ここに飛行機が着陸予定だったらどうだったんだろうと、よくそんなことを遠目から見ていた。しかし、実際に自分が行ってみると、一言では表せない何とも言えない気持ちになった。

震災から2年半、思った以上にまだまだ復興途中というのが正直な感想。被災地から遠い場所に住む私にとって、震災が勝手に自然に薄らいで来ているのだなと確かに思った。至る所に黒い袋に入った「〇〇(すみません、名前忘れました)」、放射線もまだ多少なりとも他の地域より強い状態であること、そして、まっさらな土地。

おそらく、このツアーに参加していなかったら、いつ地震が起こったのかすら、忘れていくのだろうと思った。人というのは忘れる生き物。残念ながら、地方に住むものにとっては、特別地震に関するニュースをしているわけではない。しかし、この悲しい現実と、少しずつ復興しているところを目に焼き付けることができ、貴重な機会を得られたと思う。